

1 次の( )にあてはまることばや数字、記号を書きなさい。

- (1) 同符号の2数の積は、(絶対値)の積に(正)の符号をつける。  
異符号の2数の積は、(絶対値)の積に(負)の符号をつける。
- (2) いくつかの数の乗法では、負の数が奇数個あれば、絶対値の積に(負)の符号がつき、  
負の数が偶数個あれば、絶対値の積に(正)の符号がつく。
- (3)  $4 \times 4 \times 4$  を(  $4^3$  )とかいて、「4の(3乗)」と読む。  
このように、同じ数をいくつかかけ合わせたものを、その数の(累乗)といい、いくつかかけ合わせたかを示す数を、  
その(指数)といいます。
- (4) 2数の積が1になるとき、一方を他方の数の(逆数)といいます。

- 2
- |         |                     |                    |
|---------|---------------------|--------------------|
| (1) +1  | (4) $+\frac{9}{16}$ | (7) $-\frac{1}{2}$ |
| (2) -9  | (5) -25             | (8) +25            |
| (3) -16 | (6) -4              | (9) -25            |

- 3
- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| (1) -30 | (3) +12 | (5) -1   |
| (2) 3   | (4) +3  | (6) -1.5 |